

取組みの内容

1 生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくり

スポーツには、競技志向、健康志向、遊び志向など、多様な楽しみ方があり、生涯にわたり健康で活力のある豊かな生活を送るためにも、ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組むことが重要である。

このため、県民だれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、日常的にスポーツに親しみ、またスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動が実践できるよう、生涯スポーツの環境整備に取り組む。

令和 7 年度の主な取組み・実績

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援

- ・ 地域のスポーツリーダーが、スポーツをめぐる地域の現状と課題を把握し、その課題解決に総合型地域スポーツクラブが果たす役割について認識を深めるため、四国ブロッククラブネットワークアクション 2025 を実施
- ・ 総合型地域スポーツクラブのスキルアップを図るため、クラブが実施するスポーツ教室等に優秀な外部指導者を派遣（1 クラブ、1 回）
- ・ 広域スポーツセンター専門員が市町やクラブを巡回し、クラブの設立、運営などの指導・助言
- ・ ウェブサイトの運営やクラブ通信の発行などにより、総合型地域スポーツクラブの普及啓発・情報交換を実施

(2) スポーツに親しむ機会の提供

- ・ 県立アリーナで幅広い世代がスポーツやレクリエーションに親しめる祭典「みなスポ！かがわ 2025」スポレク広場を開催（約 13,000 名が参加）
- ・ 「みなスポ！かがわ 2025」スポーツ大会を開催（県内スポーツ施設で 24 種目実施し、3,265 名が参加）

(3) 地域でスポーツを支える人材の養成、活用

- ・ 多様化する地域住民のスポーツニーズに対応できる指導者の養成のため、生涯スポーツ指導者養成講座を実施（3 日間）
- ・ 総合型地域スポーツクラブを適切に運営できる人材を育成するため、総合型地域スポーツクラブアシスタントマネジャー養成講習会を実施（2 日間）

(4) トップレベルの競技をみる機会の充実

- ・ 県民にトップランナーを見る機会を提供するとともに、県のにぎわいづくりに貢献するため、国内外のトップランナーを招聘して、第 78 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会を開催

(5) 香川県立アリーナの整備等県立スポーツ施設の充実

- ・ 県立アリーナにおけるスポーツ活動やスポーツ大会等の機会均等の推進

(6) 障害者スポーツの振興

- ・ 国際大会で活躍できる選手の育成・強化に向けた障害者スポーツの環境整備や人材育成を実施
- ・ 障害者スポーツ体験会など、スポーツを通じて、障害者と健常者が交流を図り、障害者の社会参加を促進
- ・ 全国障害者スポーツ大会（滋賀県）への選手派遣

- ・ 県障害者スポーツ大会は、9月20日に香川県丸亀競技場、丸亀市民体育館で実施

《 関連する主な事業 》

県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業、生涯スポーツ指導事業、四国インターハイ開催準備事業、香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業、香川県立アリーナ管理運営事業、障害者スポーツ普及事業

香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R7年度実績	評価	R8年度目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	54.9 (R元年度)	53.5	D	70
	D評価に関する分析	価値観やライフスタイルの変化、また気軽に参加できるスポーツクラブ・サークルが少ないなどの理由が複雑に絡み合い、スポーツをする人とならない人の二極化が進んでいる。引き続き、イベントや大会を充実させるとともに、効果的に情報発信を行うことにより、スポーツへの関心を高め、スポーツに参加できる機会を提供していく。				

評価・課題

- 総合型地域スポーツクラブは、令和7年度末時点で28のクラブが設立されているが、活動が滞っているクラブを整理し、クラブの数から活動の質の向上に注力していく必要がある。
- 「みなスポ！かがわ2025」スポーツ大会を開催し、県民が気軽にスポーツを楽しめる機会を提供することができた。
- 生涯スポーツ指導者養成講座には、地域で実際にスポーツ指導を行う人や、今後携わろうとする人が積極的に参加している（令和7年度修了者：10名（累計945名））。

今後の展開

- 総合型地域スポーツクラブは地域住民のスポーツ参画の基盤であり、その担い手も地域住民であるため、市町と連携し、既存クラブの活動の質の向上を支援する。
- 「みなスポ！かがわ2026」スポレク広場を県立アリーナで開催し、幅広い世代がスポーツとレクリエーションに親しみ、体験できる機会を提供する。
- 「みなスポ！かがわ2026」スポーツ大会を開催し、新しい種目が実施できるようスポーツ団体に働きかけていくとともに、参加者増へ向けた広報等の取組みを行う。
- 生涯スポーツの普及・発展のためには、それを支える人の育成が重要である。地域のスポーツリーダーが必要な知識と理論を体系的に学ぶことができる生涯スポーツ指導者養成講座について、引き続きスポーツ関係者に広く周知していく。
- 競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設等、県立アリーナにおける多様な用途での利用促進や機会均等を図りつつ、指定管理者と連携した施設の維持管理及び管理運営を行う。

取組みの内容**1 トップアスリートをめざし、競技力を高めることができる環境づくり**

スポーツの国際大会等での郷土選手の活躍は、県民に勇気や感動を与え、次代を担う子どもたちに夢や希望を抱かせてくれるものであり、将来のトップアスリートをめざして、子どもたちが自らの能力を最大限に伸ばそうと努力することは、たいへん意義がある。

そこで、全国大会や国際大会において活躍できるトップアスリートをめざし、競技力を高めることができる環境整備に取り組む。

令和7年度の主な取組み・実績**(1) ジュニア期からのタレント発掘、育成**

- ・ 豊かなスポーツの素質を持つ小学校3～5年生を毎年発掘し、小学校卒業までの間、月2回程度、3～6年生4学年を対象に行うスーパー讃岐っ子育成プログラムを実施（計61回）
- ・ 小学校3、4年生の希望する児童を対象に、未普及競技の体験教室を含むスポーツ体験プログラムを実施（計5回、100名）
- ・ 中学生県選抜チーム（団体競技）の県外遠征を支援
- ・ 中学校に部活動の少ない競技で、競技団体が運営するクラブの立ち上げを継続的に活動支援
- ・ 中学校、高校の運動部を充実、活性化させることを目的として、県中学・高校体育連盟を通じて、県外遠征や強化合宿等さまざまな強化事業を実施
- ・ 専門的に競技を始める中学生年代の強化を図るため、中学生の県代表クラス選手を選抜し、競技団体による練習会等を計画的・継続的に実施

(2) トップアスリート育成のための支援

- ・ 国民スポーツ大会正式競技である41競技の選手強化を図るため、県外遠征や強化合宿及び選手、指導者のレベルアップを目的とした優秀なコーチの招聘等を実施
- ・ 日本代表候補選手等の強化のために、海外遠征や県内での合宿等への支援を実施
- ・ 将来国際舞台で活躍できるアスリートを育成するため、オリンピック種目に取り組む将来性豊かな中・高校生を指定して個別に強化
- ・ ジュニア選手・指導者の育成を目的として、オリンピック選手等トップアスリートによるスポーツ教室や講演を開催
- ・ 競技団体に専任コーチ等を配置し、選手のコンディショニングの調整をはじめ、選手の競技力向上に向けて指導システム・カリキュラムの点検・向上を実施

(3) 指導者の養成および資質の向上

- ・ 指導者の育成と資質向上のために研修会を実施

(4) スポーツ医・科学に基づいた競技力向上のための支援

- ・ （公財）香川県スポーツ協会と連携し、各競技ごとにスポーツドクターを配置し、健康やコンディショニングの管理、指導を実施

＜ 関連する主な事業 ＞

羽ばたけトップアスリート育成事業

香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画 策定時(R2)	R7 年度 実績	評価	R8 年度 目標
36	オリンピック大会に出場した本県関係 の選手数	人	2 (過去5大会の平均)	—	—	3 (R6年度)
37	国民体育大会男女総合成績 (国民スポーツ大会)	位	31 (H27～R元年度の平均)	29	A	20 台

評価・課題

- かがわジュニア育成プランから育った本県出身選手が全国大会で活躍するなど、成果が上がっている。
- 国民スポーツ大会(滋賀県)が開催され、29 位となり、目標である 20 位台を 2 年ぶりに達成できた。
- 個々の特性を生かし、発育・発達段階に応じて、一貫した指導理念に基づく指導を行う一貫指導システムが構築された競技クラブの維持・継続が重要である。
- 国民スポーツ大会をはじめとする各種大会の認知、また、スポーツ振興に対する県民の機運醸成を図ることが重要である。

今後の展開

- 短期的には有望競技の重点強化、中長期的にはジュニア選手の発掘・育成に努めるなど、本県の競技力水準の維持・向上を図るため、継続的な強化・支援を行う。
- スーパー讃岐っ子の募集を引き続き 3 年生から実施し、より効果的に展開できるよう進めていく。
- 国民スポーツ大会に向けた強化事業等により育った本県出身選手が、さらにオリンピックなどの国際大会に出場・活躍できるよう、引き続きトップアスリートの育成支援を継続していく。
- 各競技団体や日本オリンピック委員会(JOC)、日本スポーツ振興センター(JSC)などの中央団体とも連携を図り、ジュニアからトップアスリートに至るまで、アスリート発掘・育成強化事業をはじめとする総合的な競技力向上対策事業をさらに推進していく。
- 競技スポーツにおける育成・強化はもとより、国民スポーツ大会などの各種競技スポーツ大会で活躍している本県選手・団体の情報を積極的に発信することで、県民に理解され、応援してもらえるよう効果的に事業を展開する。